

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名	地域高規格道路「江府三次道路」 一般国道183号 高道路	事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県庄原市高町 至：広島県庄原市高町	延長	3.0 km		
事業概要	地域高規格道路「江府三次道路」は、中国縦貫自動車道と中国横断自動車道岡山米子線を結ぶ延長約90kmの道路である。 一般国道183号は、広島県広島市を起点とし鳥取県米子市に至る延長約193kmの幹線道路である。 高道路は、地域高規格道路「江府三次道路」の一部を構成し、平面踏切等による交通隘路区間の解消等による交通円滑化を目的とした延長3kmの4車線道路である。				
H9年度事業化	都市計画決定なし	H11年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	約110億円	事業進捗率	95%	供用済延長	0 km
計画交通量	8、800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 15.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 9/131億円 事業費：5/127億円 維持管理費：4/4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 141/141億円 走行時間短縮便益：114/114億円 走行費用減少便益：22/22億円 交通事故減少便益：6/6億円	基準年	平成18年
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=17.4（交通量+10%） B/C=14.3（交通量-10%） 事業費変動：B/C=15.1（事業費+10%） B/C=16.7（事業費-10%）				
事業の効果等	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。 主要な観光地へのアクセス向上が期待される。 他7項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	地域高規格道路「江府三次道路」は地域間交流を促進する重要な路線として位置付けている。広島県備北地区と鳥取県日野地区は、古くから多様な交流を持ち、一つの圏域として発展してきたが、当地区間を連絡する道路機能は極めて不十分な状況であり、早期整備の要望（平成18年6月15日）を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	庄原市・西城町・東城町・口和町・高野町・比和町・総領町が平成17年3月31日に合併し、当該路線は新市建設計画の主要施策（道路網・生活交通網の充実）に位置付けられている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成18年度中に、橋梁工事・トンネル工事が完了する予定であり、平成19年度の完成に向けて土工工事、道路付属設備、舗装工事等の促進を図る。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	工事推進中であり、平成19年度に完成する予定である。				
対応方針	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。